

大田区自立支援協議会 就労支援部会議事録

文責：小林（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 就労支援部会（第7回）			
(2) 開催日時	平成28年11月28日（月）15：00～17：00			
(3) 開催場所	HKビル HK-203会議室			
(4) 出席した委員、事務局	部会長：鶴田雅英			
	志村陽子	中野真弓	別所孝治	都丸利奈子
	小平真理	小林清一	國分由記枝	岩本朋恵
	田中由紀			
	区職員 富永眞也			
	関係者 山田達也 広瀬健次郎			
	事務局 木伏正有 徳留敦子 村田亮 滝本裕弥			
欠席者 関香穂利 酒井弘美 大内伸一 森村明香 根本真理子 富田文字				
(5) 内容・要旨	<p>●内容</p> <p>1 各委員・各ネットワークからの情報提供</p> <p>○第2回本会（10月24日）の報告</p> <p>各部会より上半期の報告を行い、各委員より意見出しがある。役員会議・運営会議・全体討議会の報告や、区側から次期おた障がい施策推進プラン策定に向けた実態調査の実施の報告、会長よりおた障がい施策推進会議の報告もあった。</p> <p>○NPO法人大森コラボレーション障がい児・者実行委員会主催の映画「逃げ遅れる人々」上映会の情報提供。</p> <p>12月3日（土）午後、こらぼ大森にて実施。</p> <p>○おた精神障害者の地域生活を考える会の報告</p> <p>11月16日（水）ステップ夢にて実施。約15名参加し事例検討を行った。</p> <p>○おたトラブルシューター（触法障害者支援）</p> <p>毎月第3木曜日さぽーとぴあにて定例開催。11月は新潟刑務所法務教官の方を講師に迎え開催した。</p> <p>今回は12月15日（木）ステップ夢を講師に迎え、事業所の取り組みや事例報告をしていただく予定。</p> <p>○西蒲田・池上地域の高齢者・障害者支援事業所協働によるイベント</p> <p>12月3日（土）池上福祉園にて講演会等を行う予定。</p> <p>○ステップ夢5周年イベント 12月3日（土）実施予定。</p> <p>○矢口特別支援学校文化祭 12月3日（土）実施予定。</p> <p>○地域移行・地域生活支援部会主催 公開勉強会</p> <p>12月22日（木）の地域移行・地域生活支援部会にて「医療的ケアの必要な方の地域生活について」をテーマに、川口有美子氏（NPO法人さくら会理事、有限会社ケアサポートモモ代表取締役、日本ALS協会理事）を講師に招き勉強会を行う。部会の一部として行うが勉強会については公開とする。</p> <p>○発達障がいシンポジウム（大田区・大田区教育委員会主催）について</p> <p>12月4日（日）アプリコ 小ホール・地下1階展示室にて実施予定。</p>			

2 事務局からの情報提供

①11月就労促進担当者会議からの報告

就労継続支援B型と就労移行支援の多機能事業所である ENTAS さんを講師に招き多機能事業所としての利点や支援事例のお話をしていただいた。

②就労促進懇談会の報告

11月21日(月)アプリコ地下1階展示室にて実施。企業72名、関係機関69名、合計141名が参加。第一部企業2社より雇用事例報告、コーヒープレイクを挟み、第二部雇用に活用できる情報提供、第三部質疑応答・意見交換を行った。

③11月移行支援事業所連絡会からの報告

10月27日(木)に企業向けの移行支援事業所見学会を実施。5企業が参加し、Spirit大森センターと東京都大田福祉工場の見学を行う。Spirit大森センターでは主に精神障害者・発達障害者向けのSST場面の見学、東京都大田福祉工場では主に身体障害者・知的障害者向けの作業場面の見学を行った。

④職業リハビリテーション研究・実践発表会の報告

11月10日(木)11日(金)に東京ビックサイトにて行われた職業リハビリテーション研究・実践発表会にて大田区精神障害者職場体験実習の5年間の取組みについてまとめ、ポスター発表を行った。

⑤職場体験実習実行委員会からの報告

今年度、33名が参加し現在も実習実施中。11月の実行委員会にて1月19日に実習体験報告会を実施することとなり内容を検討した。

⑥その他

平成28年度第3回城南ブロック会議の報告。障害年金の基礎知識、裁定請求や更新時のポイントについて社労士より説明があった。

東京都中小企業支援策について情報提供。今年度東京都が新たに開始した事業。ハローワークと連携し、中小企業に「障害者雇用支援員」が訪問し、障害者雇用に関する支援策の説明等を行い、雇用の促進を図る事業。

3 新しいネットワークの構築 ～ゲストスピーカー「都立蒲田高校」～

エンカレッジスクールである都立蒲田高校の教育課程や生徒の実態、生徒に対する支援状況、進路などのお話をしていただいた。

全日制普通科で教育課程も学習指導要領に基づき行われている。基礎からの学び直しができるように、1年生の午前中は5教科で30分授業を取り入れている。短時間で集中力を高め、反復学習を徹底。卒業後の進路は進学が約5割、就職が約4割、未定が約1割である。1・2年次に分野別模擬授業や説明会などで進路を考える機会をつくり、3年次で就職・進学等に分かれ進路ガイダンスを行っている。学校生活が円滑に行えるように、生徒に応じてスクールカウンセラーが担任と連携して関わることもある。また今年度よりユースソーシャルワーカーが2名派遣されるようになり、中途退学未然防止のための支援も行っている。

今後は、毎年生徒の抱える課題が多種多様になってきている現状があり、外部関係機関との情報交換・連携をさらに進めていくことが課題である。また、卒業時、9割の生徒が進路を決めて卒業していくが、その後のフォローアップが難しい現状があることも課題となってくる。

4 公開セミナーに向けての準備

平成 29 年 2 月 2 日（木）サポートセンター5 階多目的室で実施予定。

「新しい働き方」をテーマに実施する方向で話し合う。

「新しい働き方」と一言と言っても、参加者は「就労支援系の事業所で働く」ことをイメージする人もいれば「障害者雇用促進法の雇用率算定以外での企業就労」をイメージする人もいる等、捉え方が様々である。

各委員から出た意見を参考に、作業部会において更にテーマを絞り検討することになった。

5 その他

①定着支援量と質の調査について

事務局にて単純集計および自由意見の集計を行った。各委員で集計の結果を確認し、さらに細かい分析をするためのクロス集計項目を検討することになる。検討項目について提案・意見がある委員は事務局まで連絡する。

②おおた障がい施策プランの 27 年度実績および 28 年度 8 月までの実績報告を受けて

自立支援協議会会長を通して、大田区障がい者施策推進会議に意見出しを行う。大田区障がい者施策推進会議で提出された意見については、今後の方向性としての区の考えを回答される。

意見のある委員は 12 月 5 日（月）までに意見提出用紙を事務局まで提出する。

6 次回日程

平成 28 年 12 月 19 日（月） 15 時～17 時

HKービル HKー201 会議室